



平成31年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年6月8日

上場会社名 クロスプラス株式会社
 コード番号 3320 URL <http://www.crossplus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 山本 大寛
 (氏名) 西垣 正孝
 TEL 052-532-2211

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第1四半期の連結業績(平成30年2月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年1月期第1四半期 | 15,080 | 4.7 | 72 | | 46 | | 15 | |
| 30年1月期第1四半期 | 15,816 | 0.5 | 364 | 132.4 | 370 | 117.1 | 331 | 111.2 |

(注) 包括利益 31年1月期第1四半期 122百万円 (%) 30年1月期第1四半期 252百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年1月期第1四半期 | 2.14 | |
| 30年1月期第1四半期 | 45.26 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年1月期第1四半期 | 30,664 | 12,036 | 39.2 |
| 30年1月期 | 29,264 | 11,782 | 40.2 |

(参考) 自己資本 31年1月期第1四半期 12,018百万円 30年1月期 11,769百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年1月期 | | 3.00 | | 3.00 | 6.00 |
| 31年1月期 | | | | | |
| 31年1月期(予想) | | 3.00 | | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年1月期の連結業績予想(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 28,600 | 2.3 | 500 | | 450 | | 420 | | 57.39 |
| 通期 | 65,000 | 3.5 | 500 | 29.7 | 600 | 13.9 | 500 | 25.0 | 68.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年1月期1Q | 7,718,800 株 | 30年1月期 | 7,718,800 株 |
| 期末自己株式数 | 31年1月期1Q | 401,260 株 | 30年1月期 | 401,260 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年1月期1Q | 7,317,540 株 | 30年1月期1Q | 7,317,620 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成30年2月1日～平成30年4月30日)におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済の不確実性や地政学リスクの影響などが懸念され、先行きの見通しが不透明な状況が続いております。

当アパレル業界は、インバウンド需要で百貨店の化粧品や高額商品は好調に推移し、気温の上昇から春夏物の消費も堅調に推移したものの、消費者の節約志向は依然として強く、国内市場全体としては引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような環境の中、当社グループは、企画提案力の強化、専門店向け販路の拡大に取り組んでまいりました。また、平成30年2月よりメンズを主力として相手先ブランドの企画製造事業を行う(株)サードオフィスがグループに加わっています。

売上高は、専門店向けや無店舗向けの販売を伸ばしたものの、量販店向けの販売が減少しました。専門店向けは専任部署での新規取引の開拓と(株)サードオフィスの連結化により、セレクトショップ等の販路拡大を行いました。

利益面では貿易コストの見直しを進めると共に、グループでの生産管理を共通化し、不良品の削減、納期管理の強化をすることで、コストの削減を進めました。

しかしながら、衣料品市場全体として商品価格帯の低下から販売単価の下落が進み、売上は数量増で補うことができず、売上総利益率も悪化しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は150億80百万円(前年同期比4.7%減)、営業損益は72百万円の損失(前年同期は3億64百万円の営業利益)、経常損益は46百万円の損失(前年同期は3億70百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は15百万円の純損失(前年同期は3億31百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の単一セグメントでありますので、セグメント情報の記載はしていません。

販売チャネル別の売上高は、以下のとおりです。

| 区 分 | 金額(百万円) | 前年同期比(%) |
|-----------|---------|----------|
| 量 販 店 | 5,567 | △12.9 |
| 専 門 店 | 6,574 | +2.0 |
| 無 店 舗 | 1,841 | +21.6 |
| そ の 他 卸 売 | 313 | +8.2 |
| 小 売 | 804 | △32.7 |
| 消 去 | △21 | — |
| 合 計 | 15,080 | △4.7 |

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、306億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億00百万円の増加となりました。

流動資産は209億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億41百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が3億50百万円減少したものの、売上債権が4億70百万円増加し、商品が7億81百万円増加したことによります。

固定資産は96億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億58百万円の増加となりました。固定資産の増加の主な要因は、無形固定資産が1億95百万円増加し、投資有価証券が1億64百万円増加したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は186億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億46百万円の増加となりました。

流動負債は148億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億00百万円の増加となりました。流動負債の増加の主な要因は、仕入債務が3億07百万円減少したものの、短期借入金が14億40百万円増加したことによります。

固定負債は38億03百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円の増加となりました。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が98百万円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、120億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円の増加となりました。純資産の増加の主な要因は、繰延ヘッジ損益が1億93百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年3月16日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年1月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,243 | 3,892 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,932 | 11,937 |
| 電子記録債権 | 2,281 | 1,746 |
| 商品 | 1,901 | 2,683 |
| 貯蔵品 | 15 | 19 |
| その他 | 660 | 712 |
| 貸倒引当金 | △0 | △16 |
| 流動資産合計 | 20,033 | 20,975 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,084 | 4,093 |
| 無形固定資産 | 100 | 295 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,535 | 4,699 |
| その他 | 510 | 599 |
| 投資その他の資産合計 | 5,045 | 5,299 |
| 固定資産合計 | 9,230 | 9,688 |
| 資産合計 | 29,264 | 30,664 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,351 | 5,167 |
| 電子記録債務 | 5,314 | 4,191 |
| 短期借入金 | 1,600 | 3,040 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 607 | 725 |
| 未払法人税等 | 99 | 31 |
| 賞与引当金 | 92 | 217 |
| 返品調整引当金 | 46 | 39 |
| その他 | 1,713 | 1,412 |
| 流動負債合計 | 13,824 | 14,824 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,473 | 1,571 |
| 退職給付に係る負債 | 992 | 982 |
| その他 | 1,190 | 1,248 |
| 固定負債合計 | 3,657 | 3,803 |
| 負債合計 | 17,481 | 18,628 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年1月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,944 | 1,944 |
| 資本剰余金 | 2,007 | 2,007 |
| 利益剰余金 | 6,925 | 6,887 |
| 自己株式 | △532 | △532 |
| 株主資本合計 | 10,344 | 10,307 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,648 | 1,747 |
| 繰延ヘッジ損益 | △239 | △46 |
| 為替換算調整勘定 | 53 | 44 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △37 | △34 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,424 | 1,711 |
| 新株予約権 | 13 | 17 |
| 純資産合計 | 11,782 | 12,036 |
| 負債純資産合計 | 29,264 | 30,664 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 15,816 | 15,080 |
| 売上原価 | 12,446 | 12,129 |
| 売上総利益 | 3,370 | 2,951 |
| 返品調整引当金戻入額 | 37 | 46 |
| 返品調整引当金繰入額 | 40 | 35 |
| 差引売上総利益 | 3,366 | 2,962 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,002 | 3,035 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 364 | △72 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 1 |
| 受取家賃 | 11 | 36 |
| その他 | 10 | 16 |
| 営業外収益合計 | 24 | 54 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4 | 7 |
| 貸貸収入原価 | 11 | 9 |
| 為替差損 | — | 11 |
| その他 | 1 | 0 |
| 営業外費用合計 | 18 | 28 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 370 | △46 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1 |
| 特別利益合計 | — | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 0 |
| 投資有価証券売却損 | — | 1 |
| 投資有価証券評価損 | — | 5 |
| 特別損失合計 | — | 7 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 370 | △53 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 39 | 21 |
| 法人税等調整額 | △0 | △58 |
| 法人税等合計 | 39 | △37 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 331 | △15 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 331 | △15 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 331 | △15 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △31 | 99 |
| 繰延ヘッジ損益 | △42 | △193 |
| 為替換算調整勘定 | △11 | △9 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | △3 |
| その他の包括利益合計 | △78 | △106 |
| 四半期包括利益 | 252 | △122 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 252 | △122 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。